

西部地区人権教育実践報告会

令和元年7月26日（金） 会場：狭山市市民会館

1 全体会の概要

- | | | |
|--------------------|-------------------|------|
| (1) 開会の言葉 | 副実行委員長 | |
| (2) 挨拶 | 西部教育事務所長
実行委員長 | |
| (3) 来賓挨拶 | 狭山市長 | |
| (4) 情報提供 | 人権教育課指導主事 | |
| (5) 人権作文の発表・表彰 | | |
| ・「相手の立場になって考えてみよう」 | 所沢市立宮前小学校 | 第3学年 |
| ・「わたしの弟」 | 越生町立越生小学校 | 第4学年 |
| ・「私の中の二人の自分」 | 小川町立小川小学校 | 第6学年 |
| ・「幸せに生きるために」 | 川越市立川越第一中学校 | 第3学年 |
| ・「当たり前の壁」 | 狭山市立堀兼中学校 | 第3学年 |
| (6) 閉会の言葉 | 副実行委員長 | |



2 分科会の概要

分科会名	実践報告
女性・外国人	○富士見市における男女共同参画の取組 ○日本語教室を通じた外国人支援の現状
子 供	○お互いを認め合える子の育成 ～人との関わりを通して～ ○「関わることで人は育つ」人権教育の取組
同 和 問 題	○所沢市の社会教育における人権教育 ○同和問題における人権教育について
高 齢 者 ・ 障 害 の あ る 人	○人との関わりを通じた高齢者理解に向けた取組 ○やさしさ・思いやりのある児童の育成を目指した人権教育の取組 ○障害児の権利保障を掲げた「学校宣言」の共通理解と授業実践
様 々 な 人 権 問 題	○平等・公平・共生の考え方 ～「避難生活と人権を考える」ワークショップから～ ○性同一性障害をはじめとした性的マイノリティに関する人権教育の取組

3 参加者の意見など

- (1) 作文を発表した児童生徒の先入観にとらわれない柔軟な感覚、気づきに驚かされました。
- (2) 幼・保・小・中・高・特別支援といった校種の違いや、社会教育担当者など様々な立場の方と交流することができ、とても参考になりました。
- (3) 各自自治体や学校の取組がとても参考になりました。助言者の話が素晴らしく、もっと聞きたかったです。